

地域にはばたく市民パワー！

**ところざわ倶楽部「広場」**

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2012 年 9 月号 (第 53 号)

発行責任者 加曾利 厚雄



「キツネノカミソリの群落」 トロ14号地にて 24.8.12 撮影

## 目 次

9 月公開講演会のお知らせ	1
7 月文化祭の報告	2
理事会報告 (7・8 月)	2
写真で見る	
ところざわ倶楽部文化祭	3
サークル活動報告	
「平家物語を学ぶ葵の会」	4
特別会員リレー寄稿 (第 7 回)	
小川達雄先生	5
「地球環境に学ぶ」からのお知らせ	6
映画会 (環境問題)	
太陽光発電所見学会	
サークル活動計画 (9・10 月)	7
料理コーナー & むさし野俳句会	8

## 《公開講演会間近に迫る！》

演題：「**所沢倶楽部と近代政治**」

— 明治 20 年代の政治の状況 — (担当) 野老澤の歴史をたのしむ会  
三島 & 山下

講 師 渡辺隆喜 (明治大学名誉教授)

日 時 9 月 13 日 (木曜日)

午後 2 時 ~ 4 時

午後 1 時 30 分受付開始

場 所 新所沢公民館ホール

参加費 無料

主 催 ところざわ倶楽部

協 力 野老澤の歴史をたのしむ会  
歴史散策クラブ

明治 20 年代は明治憲法公布、初期議会開設など、わが国における近代国家の体裁が整えられた時期です。

これに呼応した当時の埼玉県における自由民権運動、そして西武地域の政治の実態など、明治 20 年代のこの地域の政治状況について、政治結社・「所沢倶楽部」の活動を中心にお話させていただきます。

「所沢倶楽部」は明治 22 年 10 月、「農工商ノ実利ヲ講究」「併セテ将来ノ友誼」を結ぶこと、つまり、地場産業育成のための地域輿論の結集＝地方自治を目的に

社交結社として結成されましたが、その後政治結社となりました。「所沢倶楽部」と意見を同じくする結社に、明治 23 年 1 月結成の「川越倶楽部」があり、その中心人物は粕谷義三でした。彼は埼玉県会から国会に出て、衆議院議長になりますが、所沢地域は彼の最大の支持基盤でした。

先生の講義は、市民大学 18 期で高い評価を得、今年 12 月、20 期にも同様の講義が予定されています。

## 芋煮会開催のお知らせ

日 時：10 月 23 日 (火) 10:00 ~ 14:00

場 所：農家民宿「コロット」(山口 2040)

内 容：講演「里山を守る(仮題)」 荻野 豊氏  
懐かしの歌声 & 芋煮で懇談

参加要領：事前申し込み (申込期限：10 月 16 日)

参加費：700 円 (予定)

担 当：地域の自然を考える会、所沢の自然と農業  
細部は別添のチラシをご覧ください。

(文化祭の報告)

**ところざわ倶楽部「文化祭」の舞台裏**

事業部長 若山 昭

去る 7 月 27 日(金) 中央公民館において「ところざわ倶楽部」初の文化祭が開催されました。この企画は昨年から構想されていたものですが、震災の影響で開催は本年となりました。

昨年末、まず出場希望者の募集を行いました。「ところざわ倶楽部」には芸達者が多いと耳にしていたので、多くの方が手を挙げてくれるものと期待していましたが、最初はほとんど反応がなく、文化祭の開催も心配になりました。しかし、そのうちにポツポツと申し込みが入りはじめ、朗読劇のドラカン、オカリナの岡本さん、木村さん、ピアノの須山さん、それに「とことこバンド」の 5 組のエントリーが確定したところで、司会を事業部理事の薄井さんをお願いして大枠が決定。その後佐藤さんの「民話朗読」が加わって 6 組となり、なんとか文化祭らしくなってきました。

なお、今回の出演者の一つである「とことこバンド」は、昨年の総会の打ち上げ会で意気投合した有志で立ち上げたもの。60 年代の歌謡曲の話題で盛り上がり、弦が錆びているとはいえ楽器を持っていることが判り、

ではバンドをということになった荒木、井手、若山、渡邊の 4 人を核に小野さんの加入で昨年 12 月に結成。その後大野さんが加わってメンバーは 6 名。

さて、当日、準備段階の音響調整で時間をくい、あとのスケジュールが押せ押せに。しかしなんとか予定通りに開幕。ところが、緞帳の上げ下げのタイミングがずれたり、暗転幕を閉めたり開けたり、予定外のマイクのリクエストがあったり、舞台裏はドタバタ。でもサポートスタッフはなんとかこなしてくれました。

そんな中で、薄井さんの落ち着いた司会のお陰で何とか形になったのではないのでしょうか。アンケートでも高い評価をいただきました。最後のフィナーレでもハプニングが発生。音楽関係の出演者が全員舞台に出てくるはずでしたが、呼べど集まらず、結局バンド演奏の続きみたいになってしまいました。でも、あんなこんなが楽しいのであり、来年も開催してほしいというリクエストをたくさん頂いています。

参加者をはじめ、会場を埋めた多くの会員のご協力に感謝いたします。

**平成 24 年 7 月・8 月理事会報告**

総務部長 菅沼 庸雄

7 月理事会は 9 日(月)10 時から開催された。

1. 加曾利会長から当面の諸課題に対する所見
  - (1) 倶楽部の次期サークル代表理事改選の準備を。
  - (2) 市民大学 19 期生への倶楽部入会説明会の準備を始める。先ず 7 月 12 日運営委員会説明を行う。
2. 若山事業部長 から、事業部事案の諸報告
  - (1) 7 月「倶楽部文化祭」は準備進行中。多くの参加者の呼び掛け、参加者アンケートの準備を。
  - (2) 9 月特別公開講演会「所沢倶楽部と近代政治」は 9 月 13 日 14 時から新所沢公民館で準備進行中。
  - (3) 倶楽部事業の方向性について事業部見解を説明後自由討議、多くの意見を受け再検討する。
3. 池田広報部長からは、広報部事案の諸報告
  - (1) 広場 7 月号の内容と 9 月号の企画を紹介。
  - (2) 「地球環境に学ぶ」サークルの特別企画の紹介。
4. 菅沼総務部長
  - (1) 前回議事録の確認
  - (2) 次期総会日程案の説明。

8 月理事会は 13 日(月)10 時から開催された。

1. 「地球環境に学ぶ」サークルの特別企画の再紹介。
2. 加曾利会長から当面の諸課題に対する所見
  - (1) 残された事業は歴史講演会と芋煮会、準備を。
  - (2) 来期の倶楽部運営の核はサークル活動。本日の理事会の様に、理事間の活発な意見・情報交換を。
  - (3) 次期交代理事候補 6 名中、半数の提案あり。
3. 若山事業部長から事業部事案の諸報告
  - (1) 7 月「倶楽部文化祭」の纏め。約 140 名の参加あり。トコトコバンド等楽しい企画が好評だった。
  - (2) 倶楽部事業の方向性について再討議、多くの意見が出たが収束せず、今後の事業部の纏めを期待。
4. 池田広報部長から広報部事案の諸報告
  - (1) 広場 8 月号は休刊、9 月号の企画を紹介。
  - (2) HP 活動の紹介。記録容量超過で有料化の対策。
5. 菅沼総務部長
  - (1) 次回総会日程：11 月 14 日で決定、詳細後日。
  - (2) 次回理事会で第 5 期決算中間纏めの予定、準備を。

[次回理事会予告] 第 8 回：9 月 10 日(月)、 第 10 回：10 月 9 日(火)

# 写真で見るところざわ倶楽部文化祭



名司会で祭を盛り上げた  
薄井理事



開会の挨拶をする  
加曾利会長



フィナーレ:とことこバンドの伴奏に合わせ会場が一体となって合唱



佐藤さんによる所沢の民話朗読



朗読劇を熱演するドラマティック・カンパニー



息のあった岡本夫妻のマンドリンとオカリナの合奏



須山さんと向田さんによるピアノとヴァイオリンの2重奏



木村さんほか3名によるオカリナ演奏



にわか編成とは思えないとことこバンドの素晴らしい演奏

# 支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動レポート

《葵の会》

## 平家物語を学ぶ葵の会

小林 典子

葵の会では、一昨年は万葉集、昨年は源氏物語を学んできました。そして本年3月からは、引き続き小川達雄先生のご指導の下、平家物語に取り組んでいます。

先生は長年高校で教鞭を取られ、宮沢賢治研究者としてつとに有名な方です。それもそのはず、先生は賢治と同じ盛岡中学のご出身なのです。昨年7月中央公民館ホールでの、ところざわ倶楽部公開講演会「宮沢賢治に学んだこと」でも大好評を博しました。ちょうど賢治の「雨ニモ負ケズ」が、大震災の被害に打ち勝とうと動き始めた人々たちへのメッセージとして注目されていた頃のことです。

平家物語の講義は、3月祇園精舎、殿上閣討、4月祇王、5月足摺一俊寛、6月入道死去、7月実盛忠度都落と進めてきて、9月木曾最後10月那須与一11月壇ノ浦合戦 先帝身



平家物語絵巻「壇ノ浦の巻」

投、12月判官都落 勸進帳の予定です。この間7月には会員の自主学習として、国立能楽堂での能『兼平』を観賞しました。(能については後述します。)

こうしてみると、全9回の講義では平家物語の主要な巻が網羅されていて、学びの達成感を味わうことができます。特に先生が、「通常の講義では『入道死去』には時間を割くことができない、この巻を皆さんに話せたのは初めてのことで、感激している」とお話しになり、私たちも感慨深くお聞きしました。

講義は、全員によるテキストの音読、先生の解説、上原まりさんの語り(朗読)を聴く・・・というかたちで進められています。この、耳から体に入る「語り」というものが、長い間日本人に伝えられてきた文学の形なのだろうと、しみじみと実感できるのです。

また先生の、文法の要所をきちんと押さえた解説は、「この文の主語は誰なのか?」「誰に対する行動なのか?」という頭を悩ませる問題にも明確に答えて下さいます。

先生の「文章は全部わからなくても良い」との力強い言葉に励まされて、これからも古典を学んでいき

いと思っております。

平家物語は、物語の半ばの巻6での清盛の死を境に、前半は栄華を誇った清盛の悪行の数々を並べ、後半は悪行の報いの結果を描き、全体で「因果応報」を示しています。登場人物も多く、しかもそれぞれが生き生きと描かれています。一方でこの登場人物が多すぎて誰が誰だかわからなくなることが、最後まで読めずに挫折する理由の一つにもなっているようです。これを避ける為に、前半に出てくる『鹿ヶ谷(ししがたに)の変』、『以仁王(もちひとおう)御謀反』、『頼朝旗揚げ』の三つの反乱と後半の3つの戦い『一ノ谷』、『屋島』、『壇の浦』を頭に入れ、「この人物はこの戦いに出てきた」、「この出来事はこの戦いの前」などと整理しながら読み進めていくのがよさそうです。

平家物語は、僧俊寛や木曾義仲の巻のように、極限状態に追い込まれた時の人の弱さや心の機微をも描き切っています。「人間ってこういうもの」と弱さに共感していくうちに、癒しさを感じられる文学とも言われています。

国立能楽堂7月公演の能『兼平』は、主君木曾義仲の戦死を知った乳母児今井兼平が、太刀をくわえ馬から真逆様に落ちて果てる・・・。公演に先立つ解説で、乳母児との関係が実の兄弟のそれよりも強いものだったとありました。

この能に先立つ狂言『重喜(じゅうき)』では、野村眞之介君(8歳)が、祖父で人間国宝の野村萬を相手に堂々の役者ぶり。将来が楽しみです。



## 特別会員リレー寄稿 第 7 回

## 那須与一のこぼ

葵の会「古典講座」講師 小川 達雄

平家物語の中で、いちばん明快な、さっぱりした場面といえば、やはり那須与一の「扇的」があげられる。明治時代の小学 4 年の読本には

「屋島の たたかひ に、げんじはをか、へいけは海で、向ひあつて居ました時 へいけ方から舟を一そう こぎ出して 来ました。」

このように、ひとつひとつ、念を押す形で印刷されていた。これは見るからに心地よい。古典関係では、これが子供たちの最初の教材だった。

いま、原文をよむと、

「おきの方より尋常にかざつたる少舟一艘、みぎはへむいてこぎ寄せけり。磯へ七、八段ばかりになりしかば、舟を横様になす。」



平家物語絵巻 巻十一「那須与一」

むかし、「尋常小学校」と「高等小学校」があつて、「尋常」とは“ふつう”くらいにしか思わなかったけれども、「尋常にかざつたる」とは“立派に飾つた”ということであつた。なるほど、すると武士が名乗りをあげて、「いざ尋常に勝負せよ」といった意味もわかるし、「尋常小学校」と名付けた、そもその学制草創期の意気込みもわかってくる。

「少舟」というのは、現在からすれば小さくて4尺足らず、「磯へ七、八段」というのは、一段は中世で九尺つまり2.7尺、従ってだいたい20尺くらいの見当になる。ずいぶん近い。ロンドンオリンピックのアーチェリー・団体では、70尺かなたの的に射つたというから、これは、与一の的約3倍の距離である。

与一その日のいでたちは、「かちに、赤地の錦をもつておほくび、はた袖いろへたる直垂（ヒタタレ）に、萌黄威（モエギオドシ）の鎧着て、足白の太刀をはき、



というのだから（まだまだ本文は続いているが）たいしたものだ。「かち」は濃い紺色のことで、それと赤地の前襟（おほくび）、となれば目立つ。「はた袖いろへたる」とは、袖の端にさらに半袖をつけた、というので、いちいち凝っている。

「直垂」は平常着、「萌黄威」とは、うす緑の鉄または革の小片を綴った、の意味

であるが、この「足白」とは太刀につけた銀の金具、というから、これは全軍の副将格になっていて凄い。なにか特に許されたのであろうが、この場面はどきどきピカピカしていた。与一は二十歳そこそこ、ただしその時、8万石の領主であつた（のちに18万石）。

これが現代の薩摩琵琶になると、その詞章はさらりとしてしまつて、「磯へ七、八段」とか「萌黄威」などはみんな消えてしまっているのが惜しい。ただ、舟には「花も恥ろう美女（タオヤメ）が」とそこだけはちゃんと強調していたのだが。

薩摩琵琶は明治大帝が大のお気に入り、皇后と皇太后は「敦盛」に涙を流され、明治時代は薩摩琵琶の大流行に至つた（宮沢賢治も中学生の頃熱中）が、現在ではその演奏時間も短くなつてしまつた。

ほんの少しを取り上げてみたが、これは読むほどに面白い。この春、平家滅亡の戦場、壇ノ浦を訪れたら、そこは本当に海流だけ、知盛と義経の銅像があるだけだったけれども、往時の舟戦がさまざまに偲ばれて、しばし茫然としてしまつた。



壇ノ浦の知盛の像

## &lt;小川先生略歴&gt;

1930年宮崎市生まれ。高岡、糸魚川を経て1938年盛岡市に。岩手県の高校勤務、ついで東京都、埼玉県の高校へ。国語担当。

岩波書店の雑誌「文学」と日本文学協会の「日本文学」に万葉集関係論文を、河出書房新社から「盛岡中学生宮沢賢治」「隣に居た天才」を刊行。ところざわ倶楽部「葵の会」顧問。

# 「地球環境に学ぶ」サークルからのお知らせ

## 1 映画上映会



再生可能エネルギーの買い取り法をいち早く導入したドイツ、すなわち 1990 年に大量の風力発電を促した「電力買取法」、太陽光発電導入の起爆剤となった 2000 年の「再生可能エネルギー法」を絡め、いかにして自然エネルギー社会を実現できるか紹介しているドキュメンタリー映画です。(2010 年製作)

日本でも遅ればせながら、今年 7 月から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」がスタートし、下のメガソーラー発電所を始め今後の自然エネルギーの普及に弾みがつくものと期待できます。

- ・日時：9 月 22 日（土、祝）13 時 20 分～
- ・場所：狭山市市民会館小ホール（右図参照）
- ・チケット：前売り 1,000 円、当日売り 1,200 円

購入方法についてのお問い合わせがありましたら、下記担当までお願いします。

担当：塚本 (TEL/Fax 04-2942-3117)

メール：[tkmtjy@jcom.home.ne.jp](mailto:tkmtjy@jcom.home.ne.jp)



## 2. バスで行く太陽光発電所見学会



冷涼な気候、日本一の日照時間を有する山梨県のメガソーラー発電所2ヶ所を見学します。

- ① 米倉山太陽光発電所(甲府市)及び併設のPR施設“ゆめソーラー館やまなし”
- ・出力：10,000 kW (10MW)  
(現在内陸部で日本最大)
  - ・年間発電電力量：1,200 万 kWh  
(一般家庭 3,400 軒分)
  - ・太陽光パネル：約 8 万枚
  - ・営業開始：2012 年 1 月 27 日 東京電力  
(土地は山梨県)



米倉山メガソーラー全景

- ② 北杜サイト太陽光発電所(北杜市)

NEDO による 5 年間の実証研究を終え、2011 年 4 月より市営発電所として開所。

- ・出力：1,840 kW (1.84MW)
- ・年間発電・売電量：261.2 万 kWh(2011 年度)
- ・太陽光パネル：9 か国 27 種類

日時：10 月 12 日（金）7：50

場所：所沢駅東口銀行前集合

会費：2,000 円

募集人員：30 名（超えた場合抽選とさせていただきます。）

申込み期限：9 月 17 日（月）まで

申込み方法：まとめて又は個人で担当宛にお知らせ下さい。

担当 中島 (TEL/Fax 04-2928-1161)

メール：[mh-naka@jcom.home.ne.jp](mailto:mh-naka@jcom.home.ne.jp)



# サークル活動計画



9月～10月の各サークルの活動ラインアップです。興味のある活動に参加してみませんか？

<p><b>アジア研究会 (小椋雄二 2921-7739)</b>            9月定例会 9月19日(水) 中央公民館 8、9号学習室            13時30分～16時30分 DVD鑑賞予定            10月定例会 東京経済大学羅教授及び留学大学院生            (中国)5名と交歓食事会の予定 詳細後報</p>	<p><b>地域の自然 (多胡國男 2993-6143)</b>            9月8日(土) 調査地整備と調査 0900～1300            9月22日(土) サツマイモ蔓返し 0900～1300            10月13日(土) 調査地整備と調査 0900～1300            10月27日(土) サツマイモ畑整備 0900～1300</p>
<p><b>傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164)</b>            9月18日(火) 定例会、14時～新所沢公民館            所沢市自治基本条例は「市民自治の実現による市民            福祉の増進」を目的に、まちづくりを進める基本の            ルールです。条例の現状と課題を学びます。</p>	<p><b>歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004)</b>            9月8日(土) 「逃水の里」を訪ねる            集合13:00 入曽駅改札口            10月13日(土) 「慈光寺」所沢駅発9:02乗車            本川越駅9:24到着列車・改札口集合、直行可。</p>
<p><b>楽悠クラブ (甲田和巳 事前連絡は不要)</b>            9月11日(火) 歌劇「青ひげ公の城」DVD鑑賞            (場)中央公民館#8・9 (時)13:30～            10月9日(火)「パ・ソタインとグスタフ」物語」ドキュメンタリー            (場)中央公民館#8・9 (時)13:30～</p>	<p><b>ドラマティック・カンパニー (八木雅子 2995-0148)</b>            テキスト：アントニートとクレオパトラ            定例活動日：9月1日(土)、9月15日(土)            10月6日(土) 10月20日(土)            場所：新所沢東公民館(10:00～12:00)</p>
<p><b>地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117)</b>            9月18日(火) 15時～定例会 新所沢東公民館            9月22日(土、祝)「第4の革命」上映会            10月12日(金) バスによるエコ見学会            10月16日(火) 15時～定例会 新所沢東公民館</p>	<p><b>葵の会 (池田新八郎 2940-0711)</b>            9月20日(木) 13:30～16:00中央公民館7号            平家物語第6回「木曾最後」 日程変更要注意            10月12日(木) 13:30～16:00中央公民館5号            平家物語第7回「那須与一」</p>
<p><b>地域の自然を考える会 (前岳良子 2928-7334)</b>            9月15日(土) 稲刈り(糎谷)            9月25日(火) 里山整備(トト口の森12号地)            10月13日(土) 植物ときのこの観察会(WAVOC)            10月23日(火) 定例会</p>	<p><b>野老澤の歴史を楽しむ会 (山本苗子 2995-0876)</b>            9月20日(木) 武蔵野33観音巡礼 狭ヶ丘駅9時集合            10月4日(木) 武蔵野33観音巡礼 狭山市駅9時集合            10月5日(金) 人間基地見学(予定日が変更になりました)            稲荷山公園駅9時40分集合</p>
<p><b>公園を楽しむ会 (渡部正俊 2921-3014)</b>            9月27日(木):「生田緑地の日本民家園」            所沢駅東口改札内9時50分集合            10月25日(木):「世田谷沿線ハイキング」</p>	<p><b>北欧の会 (樋口俊夫 090-6483-7993)</b>            9月8日(土) 第33回例会 13時20分～            DVD観賞「キミたちの未来、僕たちの選択」            10月27日(土) 第34回例会 13時20分～            場所 新所沢東公民館</p>
<p><b>所沢の自然と農業 (高橋起彦 2924-2056)</b>            9月11日(火) 13:30～ 例会 新所沢東公民館            9月15日(土) コロット・アトリエ支援            9月29日(土)AM 県主催くぬぎ山管理作業支援            10月10日(水) 13:30～ 例会 新所沢東公民館</p>	<p><b>地域のまつり研究会 (影山洋 2921-8522)</b>            10月度のイベントとして、「吉田の龍勢祭り」の見            学会の取り組み。            並行して昨年好評だった「小鹿野歌舞伎」の観賞会            の取り組み。</p>



料理コーナー

後藤律子

残暑厳しい毎日ですが、朝夕吹く風にどことなく秋の気配を感じるこの頃です。暑いと食欲も衰えがちです。元気で暑さを乗り切るためにも、バランス良い食事に留意したいものです。



ゴーヤ味噌

「材料」

ゴーヤ1本(200g)、A(味噌大さじ3、酒大さじ2、砂糖大さじ3、) サラダ油大さじ2分の1

「作り方」

- ① ゴーヤは縦半分に切ってワタと種を取り、1センチ角に切る。
- ② フライパンに油をいれて、中火にかけ、ゴーヤを炒める。シンナリするまで炒めたら火を止め、Aを入れてよくかき混ぜ、再び中火にかけ、汁気がなくなるまで炒めたら完成。(冷蔵庫で7日間保存可能です。)



いかとオクラの和え物

「材料」

刺身用イカ(イカそうめんにつめた物1パック) オクラ(一袋)、わさび適宜、醤油適宜、塩適宜

「作り方」

- ① オクラは塩を付けてこすり、産毛を取る。沸騰したお湯で茹でて、さまし、小口に切る。
- ② イカそうめんにおクラ、醤油、わさびを入れ和える。これでお酒のつまみ1品完成です。



※ゴーヤ味噌は好きな物にのせて食べてみて下さい。麺類がお勧めです。



むさし野俳句会(二十四年八月) 作品抄



爽籟(そうらい)や秩父見下す音楽寺 鈴木 征子  
 そよ風にじやうとされてゐるねこやらし 海老澤愛之助  
 暑氣払ひ聞いた途端に熱くなり 岡本詔一郎  
 新涼やロングセラーを読み返す 岡本 博  
 山盛りの柚子売る戸板峡の郷 粕谷 昇  
 雪溪や遠くヒュッテの赤き屋根 河瀬 俊彦  
 入れ込みの背中合せやどぢやう鍋 小林 貞夫  
 子規の几や水引活ける二寸壺 小林 典子  
 新涼の木の間陣取る女郎蜘蛛 佐藤 英子  
 端度(はしど)して吾も王なり沙翁読む 佐藤 八郎

わさび田の吟遊詩人秋の蝶 白神 恵子  
 昼寝する夫の足元通り抜け 高梨 千代  
 夕立に雨やどり人駆ける人 高橋 三郎  
 新涼やしばし遺影に向きあへり 高橋 三郎  
 ロンドンに日章旗舞ふ原爆忌 高橋 三郎  
 暑氣払ひ女二人のタイカレー 利根川啓一  
 少年の丸刈りにせし終戦日 中村 直子  
 鶏頭や無人駅にも客の居て 橋本 佑子  
 短足の茄子の牛にて母帰す 平栗 彰子  
 日盛りや長蛇の列の美術館 飯泉 陽子

《 編集後記 》

▼3. 11 東日本大震災を契機に「絆」という一字があちこちで取り上げられるようになり、平成 23 年の年末、恒例の“今年の漢字”に選ばれもした。また便乗的に、「きづな」を党名にした政党も出た。  
 ▼この「絆」という言葉の多くは、家族の絆、夫婦の絆、親子の絆、地域の絆等々、「親しい人は勿論のこと、自分以外の人々を気遣い、助け合っていく、気高く断ちがたい心の繋がり」というような意味で使われているように思う。  
 ▼忘れもしない高校時代の英語のリーディングで四苦八苦して取り組んだ英文に、サマセット・モームの「Of Human Bondage」という自伝的長編小説がある。日本語の題名「人間の絆」は中野好夫がこの小説を翻訳したときに付けたものだ。併せて翻訳本

を読んでいくうちにどうも「人間の絆」という題名がしっくりこない感じがした記憶がある。それというのも、この小説の主人公と周囲の人々との繋がりには美しいものばかりではなく、どちらかと言えば「業」に近いものが中心だからだ。今改めて国語辞典をひもといてみると、「絆」という語の意味は「肉親などとの離れがたいつながり」となっている。さすがは中野好夫、間違った使い方をしていなかった。  
 ▼当倶楽部の広報紙『広場』の編集に携わって間もなく2年になる。本紙の内容も少しずつ変わり、会員相互の情報交換の場、「絆」提供の場としての役割を果たしつつあるように思う。  
 このような本紙が、会員の「絆」をより強固にする役割を果たすことができるよう、ささやかながらも努力を続けたいと思う。(高橋起彦 記)